

# 体育・スポーツ教育研究

第10巻 第1号

(九州の大学体育・スポーツ 第35号)

## 体育・スポーツ教育

- 提言  
人間力を高める体育授業に向けて  
[根上 優]
- 招待講演  
大学体育の現状と今後の課題  
[山田 茂]
- シンポジウム
  - 運動部活動離れと同好会・愛好会志向を探る——学生の運動・スポーツ意識と行動の調査結果から——  
[相原 豊 ほか]
  - 大学生の運動・スポーツ活動とメンタルヘルスの現状  
[相原 豊]
  - スポーツ行動の規定要因の視点から  
[桑野 裕文]
  - 学生気質の視点から  
[立木 宏樹]
  - 運動部活動イメージの視点から  
[郡 弘文]
- 研究発表
  - 大学生の睡眠と生活リズム  
[飯干 明]
  - スポーツ健康福祉学科学生を対象とした専門実技科目における行動変容技法を用いた介入が健康度・生活習慣に与える影響  
[正野 知基]
  - 大学生の運動行動変容と関連する諸要因の検討——定期的運動の阻害要因の特性および運動習慣との関係性について——  
[田原 亮二 ほか]
  - 大学生のスポーツ行動における Planned Behavior 理論の適用に関する研究——部活動所属者と非所属者の相違——  
[野津 亜季 ほか]

## 体育・スポーツ事情

- 海外だより——海外研修生活の報告——オリンピックの首都 (Olympic Capital) から——  
[角南 良幸]
- 大学めぐり——長崎純心大学——  
[熊野 晃三]

九州地区大学体育連合

平成20年度

## 「体育・スポーツ教育研究」寄稿規定

2001. 3. 9 制定

2008.10.11 改正

1. 本誌への投稿は、原則として九州地区大学体育連合加盟大学に在籍している者に限る。また、編集委員会が必要と認めた場合には、寄稿を依頼することがある。
2. 投稿内容は、大学における体育・スポーツ・健康の教育研究に関する、総説・原著論文・実践研究・事例報告・研究資料などとし、和文で完結したものに限る。
3. 原稿の掲載可否および掲載の時期は、編集委員会において決定する。
4. 掲載された原稿は、原則として返却しない。
5. 原稿は、原則としてワードプロセッサで作成するものとし、A4判横書き、全角40字20行とする。手書きの場合は400字詰横書き原稿用紙を用いる。本文はひらがな現代かなづかいとし、外国語をかな書きにする場合は、カタカナにする。
6. 原稿は、原則として1篇につき、図表、抄録等を含めて刷り上がり10ページ以内（およそ400字詰原稿用紙で30枚、ワードプロセッサ使用の場合は15枚）とする。
7. 原稿の表紙には、題目・著者名・所属機関を和文と英文で明記する。また、表紙の右下に、総説・原著論文・資料論文・実践研究・事例報告の別と、3語ないし5語のキーワードを明記する。
8. 提出する原稿は、オリジナルとそのコピーの合計3部とする。
9. 挿図原稿は、図中の文字や数字が直接印刷できるように、きれいにはっきりと書く。写真は鮮明な画面のものとする。
10. 図や表には、それぞれに必ず通し番号とタイトルをつけ、1枚ずつ台紙か原稿用紙に貼り、本文とは別に番号順に一括する。図表の挿入箇所は、本文原稿の欄外に、赤でそれぞれの番号によって指示する。
11. 引用文献は、本文の最後に著者名のABC順に一括し、雑誌の場合には、著者・題目・雑誌名・巻号・ページ・西暦年号の順とし、単行本の場合には、著者・書名・版数・発行所・西暦年号・ページの順に記載する。
12. 掲載原稿の費用は投稿者負担とする（1p¥2,000）。但し、所定部数の別刷りを寄贈する。なお、本連合より研究助成を受けた者の掲載原稿費用は事務局が負担する。但し、別刷りは有料とする。
13. 原稿は、九州地区大学体育連合事務局に送付する。

## 「九州の大学体育・スポーツ」編集規定

1. 九州地区大学体育連合理事会内に編集委員会を設ける。
2. 編集委員は若干名とし、九州地区大学体育連合会長が委嘱する。
3. 編集委員会は、投稿原稿の採択および掲載の時期を決定する。
4. 投稿原稿の校正は、初校のみ投稿者が行い、以後は編集委員会の責任とする。
5. 掲載内容の決定および変更については、編集委員会で決定する。

### 編 集 委 員 会

根上 優（委員長） 西澤 昭 磯貝 浩久  
石橋 健司 伊藤 友記 管原 正志

\* 本誌は第一回九州地区大学保健体育研修会報告書(昭和50年)を第1号として、「九州の大学体育・スポーツ(第25号, 平成10年度)」を引き継ぐものであり、通巻第35号となるものである。